

安保法制は違憲

安保法制は、2015年の国会で、安倍政権が強行採決を繰り返して、強引に制定しました。

憲法に違反する「戦争法案」だと、日本中に広がった市民や法律家などの声が、強引に踏みにじられました。

いちばんの問題は、「集団的自衛権」は憲法9条のもとでは認められないという、それまでに確立していた憲法解釈を「解釈改憲」で覆したことです。

これによって、日本自身が攻撃されなくても、「我が国の存立が脅かされる」などとして、アメリカなどの戦争に日本が参戦できるようになりました。

自衛隊も海外で戦うことになります。もう「専守防衛」とはいえませんが。すでに自衛隊の攻撃的性格が強まり、米軍との一体化も進んでいます。

安保法制は、一見明白に違憲です 違憲判決が平和のために必要です

2021年2月 安保法制違憲訴訟の会
〒03-0031東京都渋谷区桜丘町17-5 B2
電話 03-3780-1260 FAX 03-3780-1287
Mail. office@anpoiken.jp Web <http://anpoiken.jp>

安保法制違憲訴訟

原告・証人の声も聞かない憲法判断回避の判決 司法はこれでいいのでしょうか



二人の平和のためにこそ

横浜地方裁判所旧庁舎

私たちは訴えます。戦争になってからでは遅いのです。
いま、一人ひとりの裁判官が、良心に従い独立して判断することを。
安保法制の違憲性と危険性に、正面から向き合うことを。

安保法制違憲訴訟の会